

ふるさと交流だより

農村ボランティア
会員会報

平成26年度

ふるさとむら活動研修会を2地区で開催

平成26年10月26日(日)神崎郡神河町新野地区(稲刈り、竹林整備作業)、11月1日(土)佐用郡佐用町豊福地区(サツマイモ収穫、桃園茶園管理作業)において農村ボランティア活動研修会を開催しました。農村ボランティアの参加者数は、新野地区37名、豊福地区31名でした。

今回の「ふるさと交流だより」は、活動研修会に参加されたボランティアの方の感想文を紹介します。今後のふるさとむらでの活動の参考にしてください。

＜新野地区活動研修会に参加して＞ 稲刈り、竹炭作りと多様な活動を体験 !

『ザ! 鉄腕! DASH!!』イメージのまだ2回目・2か所目の参加です。この日は天気もよく大変暖かい日となったため、作業をしていて暑いくらいでした。今回のふるさとむらでは、本当にいろんな内容が盛りだくさん含まれていたため、時間が足りないと思うほどでした。

午前は水稲収穫作業で初めて鎌を使用したのですが、全く才能なく難しかったです。穂を束ねる作業も一苦労という中あまりの不器用さにもかかわらず地元スタッフの方々が根気よく教えてくださり大変感謝しております。

お昼は、地元の方々が地元の食材での手料理、ほうとう汁とかやくご飯を竹林の中でいただきました。本当に美味しく、しっかりおかわりまでしてしまいました。

午後からは、地元の方のガイド付きで新野散策もさせていただき、たくさんのおもてなしを受けました。そして、竹林整備作業、竹の切り落としを体験したのですが、これは才能あり?、指導して下さった方に少しほめていただいたのが一番嬉しかったです。

自分に向いている作業を発見できたので、是非またお手伝いして、今日一日大変いい環境のもとで楽しくすごさせていただいたお礼ができればと思っております。関係者の皆さんほんとうに豊かな一日をありがとうございました。(神戸市 北内奈穂子さま)



オリエンテーション



稲束の結束作業



竹の切出し作業

今年の夏から楽農生活センターの生きがい農業コースで農業を学んでいますが、別の新しい体験もしてみようと、10月26日神河町新野地区の農村ボランティアに参加しました。

稲刈りと竹林整備(竹搬出、竹割、窯入れ)が主な作業内容でした。爽やかな秋晴れの中豊かな自然に囲まれた素晴らしい環境の中で気持ち良く、そして楽しく作業をすることができました。普段できない貴重な体験となりました。

また、昼食時には、地域の皆さんによる炊き出しのおもてなしを受け、竹林の中で炊き込みご飯とほうとう汁を御馳走になりました。

まちの魅力もたくさん紹介していただきました。新野では、バイカモのきれいな水路と揚水のための水車を中心としたまちづくりが進められていて、すっかりこのまちの魅力にはまってしまいました。また、是非ボランティアに参加したいとおもいます。新野の皆さんどうもありがとうございました。

(神戸市 桑本祐二・幸与さま)



昼食の準備



ほうとう鍋・かやくご飯



水車とバイカモ

今回は、私にとって2回目の農村ボランティアへの参加でした。

慣れない手つきで鎌を持ち、稲刈りをしたり、竹を切り出したりする姿に、地元の方は、さぞハラハラされたことだと思います。しかし、皆さんがとても優しく丁寧に教えてくださったおかげで不格好ながら何とかこなせるように(?) になりました。今までできなかったことができるようになるというのは、本当に貴重な経験でした。また、神河町のみなさんが作ってくださった有機米・有機野菜料理の美味しさも、今までの経験にはないものでした。

神河町の水車のある風景、広がる田園、そこでとれる豊かな農産物。そして地元の皆さんの素敵な笑顔。どれも温かい人と自然が生み出すものなんだなと実感しました。

昼食作りには、神河町に惚れ込んで遠い東京から移住されてきた方が参加しているとおうかがいしましたが「なるほど、わかるな～」と思わずにはいられませんでした。

本当に素晴らしい経験をさせてくださった神河町・スタッフの皆様ありがとうございました。

(神戸市 中川 佐和子 さま)



稲刈り・結束・天日干し



はざ掛け準備



はざ掛け作業

10月最後の日曜日、神河町新野地区の活動に参加しました。

新野についてまず目に飛び込んできたのは清らかな水の流れる水路でギシギシと音を立てて回る11基の水車です。もうそれだけで日常の生活から離れ何だか癒されます。

作業は40名ほどで、手分けして稲刈り～結束～天日干しを昔ながらの手作業で行いました。6月に植えた、たった1本の苗がしっかりと分けつしているのを見て自然の力に感動しました。竹酢液を使った虫除けの工夫等のお話も興味深くあっという間の楽しい時間でした。

お昼は、竹林の中で、地元の野菜を使って作って下さった美味しいランチを頂き元気復活！

午後からは竹林作業で竹炭づくりをおこないました。全ての工程が終了した後で頂いた「竹茶」の味は格別なものでした。今も忘れられません。

心と身体がリフレッシュできた1日でした。ありがとうございました。

(神戸市 山口 哲・美恵さま)



竹林の中での昼食



竹割り作業



窯入れ作業・竹茶作り

＜豊福地区活動研修会に参加して＞ 降雨小休止の中、地区活動状況の研修と作業を体験！

11月1日雨の降る中、水墨画の世界のような幻想的な山あいの道を通り抜けて佐用町江川に着きました。あいにくのお天気だったので予定を変更して、午前中は地元につわる安倍晴明と芦屋道満の宇治拾遺物語のビデオを見て、この地域が陰陽道にのっとって形成された、古くから開けた歴史ある場所だと知りました。

お昼には、地元の方々を作って下さった美味しい猪汁と棚田で穫れたお米で作ったおむすびや焼き栗をいただきました。

雨も止んだ午後には、茶畑とサツマイモ畑のグループに分かれて作業に入りました。私はサツマイモ畑の方に参加しました。畑は雨でぬかるんで足がめり込むようでした。かまで芋のツルを切り進んでいるとあまりに足が重たいので靴を見ると、ドロがいっぱいくっついていて驚きましたが、立派に育ったサツマイモを掘り起こした時には、皆なニコニコ顔です。その後、ももの果樹園に行き、お天気なら本来雑草取りの作業があったのですが、見学だけになりましたが、来年の春にはお花がいっぱい咲いて桃源郷になっているのでしょうか。機会があれば又お手伝いに参加したいと思っています。

(神戸市 榮口 少珍さま)



オリエンテーション



地区の活動説明



サツマイモの蔓切り作業



サツマイモ掘取り作業



どうだ大きいよ！！



桃園の管理説明

第27号(2014年12月)

神戸新聞で農村ボランティアのことを知りました。農業に対する興味関心よりは、地元からあまり出ない私にとって西播磨という地域・佐用町に「行ってみたい」という気持ちが強く、応募しました。

当日は、生憎の雨模様、到着した頃には、小雨になっていましたが、予定されていた作業は、ほとんど出来ず農作業をしたというよりは、見学をした形になりました。

雨上がりのひんやりと湿った空気に包まれた山で土と木のおいを胸いっぱい吸い込みました。コツコツ長い年月をかけて完成された山の中の道や建物には、圧倒されました。苦みや渋みのない甘さを感じるお茶を初めて飲みました。しりもちをついて木を引っこ抜いた瞬間は笑えるほど楽しかったです。

私にできたことできることは、とても少なく小さいですが、今回豊福に来て考えたこと。得た経験をこれからの生活で大切にしていきたいと思います。また、自分の知っている場所が増えたことを嬉しく思います。

皆さんありがとうございました。

(神戸市 柏原 由佳さま)



各班のリーダー



豊福地区の歴史 (ビデオ)



猪 汁



桃の木の鹿食害対策説明



桃園・鹿食害対策状況



茶園管理説明とお茶の試飲

編集・発行 (公社)兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター 楽農交流課 農村ボランティア事務局

所在地 : 〒651-2304 神戸市西区神出町小束野 30-17

電話 : 078-965-2651 FAX : 078-965-2653

E-mail : koryu@forest-hyogo.jp H P : <http://hyogo-rakunou.com/nousonbora/>